

平成28年度「特色ある学校づくり対策事業」実践報告

佐世保市立浅子中学校

所在地 佐世保市浅子町 58 番地
校長 三浦 優子
生徒数 7名（平成28年5月1日現在）
学級数 2学級



校 訓

- 感動・・・優しく、礼儀正しく、感性の豊かな子ども
- 自主・・・自ら進んで学ぶ子ども
- 忍耐・・・最後までやり抜く子ども

学校教育目標

「9年間を通して育てる 学び合い 認め合い 高め合う子ども」

スローガン

「9年間を見通した一貫性のある浅子校の小中連携教育」

1 重点目標

- (1) 心の教育（いのちの教育）を充実させるため、環境を整える。
〈 言語環境、掲示教育、環境整備、最大の環境である教職員自身 〉
- (2) 小中併設校の特性を理解し、そのよさを生かした学習指導、生活指導に全職員で取り組む。

〈浅子校を卒業するときのめざす姿〉

『確かな学力を身に付け、健やかな体に豊かな心を宿らせて、夢に向かって学び続ける人』

具体的には、これまでと違う環境においても

- 目標をもち、自ら学ぶ意欲とあきらめずにやり抜く粘り強さをもった人
- 確かなコミュニケーションができ、相手意識をもちながら自分の思いや考えを表現できる人



2 具体的な実践内容

子どもの瞳を輝かせるNIE～言語活動の充実を目指して～

「読む」「書く」「話す」等の基礎基本の定着。進んで学ぶ力の育成に向け、NIE活動に取り組んでいる。昨年度は国語科を中心に、新聞のコラム学習、中高生新聞閲覧コーナーの設置、新聞アンケートの実施などを行った。また、校長による新聞記事の掲示もあり、いつも新聞に触れられる環境づくりを進めている。

① 新聞閲覧コーナーの設置

文章を読むことへの抵抗感を軽減し、新聞の文章に慣れさせるため、玄関スペースに閲覧コーナーを設けた。中学生にも分かりやすく書いてある中高生新聞と新聞解説雑誌を閲覧コーナーに並べ、自由に読めるようにした。また、教室前の廊下にも閲覧コーナーを設け、すぐに新聞を手にすることができるようにした。教師が紹介すると、昼休みや放課後のちょっとした時間に数人で記事について語り合う姿が見られた。

② 掲示教育の充実

昨年度より「環境が人をつくる」という観点から、環境教育に力を入れている。職員で手分けし、行事や季節に合わせて生徒の心に響く掲示物を作成した。特に、玄関スペースの黒板に貼られた校長によるNIEの掲示物は、生徒の関心を集め、NIEの取組の軸となっている。



③ 朝のNIEタイム

朝のNIEタイムを月曜日と木曜日の週2回実施した。月曜日は、生徒が新聞を1紙選んで自由に読む時間とした。この活動は、知識・技能の習得だけでなく、主体的に学習に取り組む胎動の育成にもつながっている。

水曜日は「新聞スクラップ」と「コラム学習」を隔週で行った。「新聞スクラップ」では、事前に切り抜いておいた記事をプリントに貼り、新聞記事の要約と感想を書いた。「コラム学習」



では、記事の選定を教師が輪番で担当し、作成した教師が添削をし、コメントを書いた。「新聞スクラップ」と「コラム学習」はNIEファイルに綴じ、生徒同士で交流できるように教室前のテーブルに開いて置いている。生徒同士で、どんな記事を読んだかを話し合ったり、記事についての意見を語り合ったりする姿も見られるようになった。

昨年度から取り組んでいる中学2年生は、文章を読む速度が上がり、分からない言葉を辞書で確かめる生徒が増えた。「書く」ことについても、要約や感想を短時間で書こうとする意識ができてきた。また、教師との会話の中でもテレビのニュースだけでなく、新聞に出ていた記事が話題に上がることもあった。新聞のある環境で「確かな学力」が育まれていると感じる。

豊かな心の育成のための取組

環境教育やボランティア教育の一環として、生徒会を中心に「月1クリーンアップ」「エコキャップ推進運動」「あいさつ運動」などに取り組んでいる。

また、「小学校との交流」や「保育所訪問」などを通して、小学校や保育所との連携を深めている。

① いのちを見つめるコンサート

6月26日（日）オーボエ奏者“市原隆靖さん”を招き「いのちを見つめるコンサート」を開催した。育友会、健全育成会の後援を得て、地域住民へ案内を出した。当日は、町内外からたくさんの方が来校し、盛会のうちに終了することができた。地域の文化力向上に寄与するとともに、プロの演奏家による生の演奏や心温まるお話を聴いて、音楽のすばらしさを感じ取るよい機会となった。



② 平和学習・人権学習

6月と8月に平和集会、12月に人権集会を開催した。生徒会を中心に平和宣言や標語の作成に取り組み、校内掲示版に常時掲示することにより、平和や人権を日常的に考える取組に発展させることができた。また、平和アンケートの発表、DVDの視聴、そして、障がい者の人権擁護学習にも取り組んだ。

③ キャリア教育の充実

進路指導の一環として勤労の喜びや楽しさ、厳しさを味わわせ、正しい職業観を養うとともに、個に応じた進路選択の一助となるように職場体験学習を実施した。本年度は、佐世保市内の3事業所において、2年生が3日間の体験学習に臨んだ。活動後には、体験した内容をまとめ、発表会を実施した。勤労の貴さや毎日働いて家族を養っている親への感謝の気持ちも育まれ、進路について、より真剣に考えるようになった。



④ 保育所訪問



全校で地区の保育所を訪問し、施設外周の清掃や花壇づくりなどに取り組んだり、園児と遊んだりして交流を深めた。今年は、手作りのおもちゃを持参し、園児と一緒に遊ぶなど、生徒が主体的に計画・準備することで、ボランティア活動への関心も高まった。また、進んで行動できる力も身についてきた。

⑤ こども県展作品鑑賞

2月、島瀬美術センターで開催されている「長崎県小中学校児童生徒美術作品展」を訪れ、全校生徒8名で作品鑑賞を行った。自校生徒の特選受賞作品をはじめ、県内中学生の優れた作品を間近で観ることにより、図工・美術に対する関心を高め、表現力の向上や豊かな情操の育成を図ることができた。

地域に根ざした教育

本校は、地域との結びつきが強く、町内会や青少年健全育成協議会と連携・協力して、「ビーチクリーンアップ」「あさなぎ大運動会」「のびのび少年デー」などの活動に取り組んでいる。

① 「ビーチクリーンアップ活動・親子水泳大会」

浅子中学校区青少年健全育成会の主催で、毎年夏休み前の日曜日に実施される海岸清掃の奉仕活動である。今年も早朝から地域の方々や漁業関係者とともに、浅子の景勝地である「二本松海岸」の砂浜を清掃した。

清掃終了後には、スイカ割りやビーチフラッグなどのイベントの参加し、親子の絆や地域の人々との交流を深めた。運動会に準じる町内の大きな行事の一つとなっている。



二本松海岸の清掃

③ あさなぎ大運動会



小中学生合同の応援合戦

今年で12回目を迎える地域と共同開催の大運動会である。夏休みから入念な打合せを何度も行い、計画、準備、運営まで全て共同して行った。また、地域の方々にも各係を担当していただき、参加者全員で運営した。本年度は、雨天のため体育館での実施となったが、和気あいあいとした雰囲気の中、盛会の内に終了した。また、小中合同の「あさなぎソーラン」を実施し、小中の交流をさらに深めることができた。

④ のびのび少年デー

11月の第3日曜日「のびのび少年デー」の日に、子どもたちと地域の方々で交流できる取組を毎年実施している。今年も、3年ぶりに「もちつき大会」に参加した。生徒たちは前日に餅米洗いやあんこ丸めなどの下ごしらえを育友会の方々で行い、当日は、火おこしや豚汁作り、昔ながらの杵と臼によるもちつきなどに取り組んだ。もちつきには小学生や園児も参加し、もち丸めなどを行った。試食会には、園児からお年寄りまでたくさんの方々が見えた。地域の人たちとの交流が深まるとともに、地域の伝統を大切にしようとする心情を育むよい機会となった。



もちつき大会